

平成27年 青森県准看護師試験問題

平成27年2月9日 (13:00~15:30)

注 意 事 項

1. 試験問題の頁数が、31頁であることを確認すること。
2. 解答用紙（マークシート）は2枚で、問1~75はピンク色、問76~150は茶色です。必ずそれぞれに氏名、性別、現住所、受験番号を記入及びマークすること。

例) 受験番号0789、男性、県内在住、青森太郎氏の場合

氏名	青森 太郎	受験番号	0	■	1	2	3	4	5	6	7	8	9
性別	男■ 女□		7	0	1	2	3	4	5	6	■	8	9
現住所	青森県内■ 県外□		8	0	1	2	3	4	5	6	7	■	9
			9	0	1	2	3	4	5	6	7	8	■

3. 解答は下記の例題を参照し、正しくマークすること。正しくマークされていなかったり、2つ以上マークした場合、その問題は無得点となるので注意すること。

<p>例題1 次のうち、球技でないスポーツはどれか。</p> <p>1 バレーボール 2 水泳 3 バasketボール 4 卓球</p> <p>【良い記入例】</p> <table border="1"><thead><tr><th>問題番号</th><th colspan="4">解 答 欄</th></tr></thead><tbody><tr><td>例題1</td><td><input type="checkbox"/> 1</td><td><input checked="" type="checkbox"/></td><td><input type="checkbox"/> 3</td><td><input type="checkbox"/> 4</td></tr></tbody></table>	問題番号	解 答 欄				例題1	<input type="checkbox"/> 1	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 3	<input type="checkbox"/> 4
問題番号	解 答 欄									
例題1	<input type="checkbox"/> 1	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 3	<input type="checkbox"/> 4						
<p>【悪い記入例】</p> <p><input type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/> <input type="checkbox"/></p> <p>答を修正した場合は必ず「消しゴム」であとが残らないように完全に消すこと。</p>										

4. メモ用紙の使用は認めないので、必要な場合は試験問題の余白を利用すること。
5. 問題の内容については、質問しないこと。

青 森 県

[問題 1]

次のうち、正しいものはどれか。

- 1 リボソームは、細胞に必要なエネルギーを生み出す。
- 2 血管の内壁は、単層扁平上皮でおおわれている。
- 3 耳介軟骨は、線維軟骨からなる。
- 4 神経細胞は、グリアともよばれる。

[問題 2]

次のうち、誤っているものはどれか。

- 1 側頭骨の外面には、外耳孔がある。
- 2 5個の仙椎は、癒合して仙骨となる。
- 3 上腕三頭筋は、肘関節の屈曲を行う。
- 4 肩関節は、球関節である。

[問題 3]

次のうち、正しいものの組合せはどれか。

- a 成人では、体内の全血液量は体重の約 1/13 である。
- b 成人の血液において、リンパ球は血中の白血球の半数以上を占める。
- c 心音の第 I 音は、心室収縮期のはじめに生じる音である。
- d 上行大動脈から最初に分枝する血管は、腕頭動脈である。

- 1 a と b 2 a と c 3 b と d 4 c と d

[問題 4]

次のうち、誤っているものはどれか。

- 1 鼻中隔の前下部は、キーゼルバッハ部位とよばれる。
- 2 肺尖は、鎖骨より 2～3 cm 上に位置する。
- 3 安静時の 1 回換気量は、約 500ml である。
- 4 二酸化炭素が過度に排出されると、呼吸性アシドーシスになる。

[問題 5]

次のうち、誤っているものはどれか。

- 1 食道は、咽頭と噴門をつなぐ管である。
- 2 胃の左上方へふくらんだ部位を胃底という。
- 3 ランゲルハンス島の B 細胞は、グルカゴンを分泌する。
- 4 肝臓は、血液中にブドウ糖（血糖）が多い時にはグリコーゲンを合成し、貯蔵する。

[問題6]

次のうち、正しいものはどれか。

- 1 腎小体とそれに続く集合管とを合わせて腎単位（ネフロン）という。
- 2 レニン-アンギオテンシン-アルドステロン系は、血圧を上昇させる作用を持つ。
- 3 膀胱と子宮との間の腹膜腔の深くぼみをダグラス窩とよぶ。
- 4 卵子は、22本の常染色体とXまたはYのどちらか1本の性染色体をもつ。

[問題7]

ホルモンと、それを分泌する内分泌腺について、誤っている組合せはどれか。

- 1 オキシトシン ————— 下垂体後葉
- 2 カルシトニン ————— 甲状腺
- 3 コルチゾール ————— 副腎皮質
- 4 黄体形成ホルモン ———— 卵巢

[問題8]

次のうち、誤っているものはどれか。

- 1 脊髄神経のうち、頸神経は8対である。
- 2 顔面神経は、顔面の表情筋の運動をつかさどる。
- 3 クモ膜下腔は、脳脊髄液で満たされている。
- 4 前頭葉の皮質には、視覚野がある。

[問題9]

次のうち、正しいものはどれか。

- 1 遠くを見るときには、毛様体筋が弛緩する。
- 2 涙腺は、眼窩の下内側にある。
- 3 内耳の蝸牛にあるコルチ器（ラセン器）は、平衡感覚をつかさどる。
- 4 アポクリン汗腺は、ほぼ全身の皮膚に分布する。

[問題10]

栄養食事療法について、誤っているものはどれか。

- 1 うっ血性心不全の患者では、塩分摂取を制限する。
- 2 透析療法の患者では、たんぱく質摂取を制限する。
- 3 痛風の患者では、アルコール摂取量を制限する。
- 4 急性膵炎の患者では、脂肪摂取を制限する。

[問題 11]

次のうち、誤っているものはどれか。

- 1 ビタミンCが欠乏すると、出血しやすくなる。
- 2 ビタミンDが欠乏すると、骨が変形する。
- 3 鉄が欠乏すると、視力障害を引き起こす。
- 4 カルシウムが欠乏すると、骨粗鬆症となる。

[問題 12]

経管栄養法の適応について、誤っているものはどれか。

- 1 脳梗塞で意識障害がある。
- 2 顔面の外傷で口が開けられない。
- 3 腸閉塞で嘔吐している。
- 4 神経性食欲不振症のため食べる意思がない。

[問題 13]

次のうち、誤っているものはどれか。

- 1 作用薬（アゴニスト）とは、受容体（レセプター）に結合して固有の生理反応を引き起こす物質をいう。
- 2 50%致死量と50%有効量の比が大きいほど安全性は高い。
- 3 経口投与された薬物は、初回通過効果を受けない。
- 4 一般的に女性は男性よりも薬物に対する感受性が高い。

[問題 14]

薬剤と適応疾患について、誤っている組合せはどれか。

- 1 ファモチジン ————— 高尿酸血症
- 2 オランザピン ————— 統合失調症
- 3 フロセミド ————— 高血圧症
- 4 プラバスタチン ———— 脂質異常症

[問題 15]

抗結核薬による副作用について、誤っている組合せはどれか。

- 1 エタンブトール ————— 味覚障害
- 2 ストレプトマイシン ———— 聴力障害
- 3 リファンピシン ————— 肝障害
- 4 イソニアジド ————— 末梢神経炎

[問題 16]

女性生殖器疾患について、誤っているものはどれか。

- 1 卵巣の子宮内膜症は、まれである。
- 2 子宮体がんは、類内膜腺がんが多い。
- 3 卵巣腫瘍には、境界悪性腫瘍がある。
- 4 子宮頸がんは、ヒトパピローマウイルス（ヒト乳頭腫ウイルス）感染との関連性が高い。

[問題 17]

肺がんについて、正しいものはどれか。

- 1 他臓器のがんが肺に転移するのは少ない。
- 2 病巣の石灰化が起こりやすい。
- 3 喀痰の細胞診は発見に用いられる。
- 4 近年、男女合わせたがん死亡の第3位である。

[問題 18]

肝硬変について、正しいものはどれか。

- 1 腹水の貯留を生じにくい。
- 2 A型肝炎からの移行が多い。
- 3 痔核が悪化しやすい。
- 4 転移性肝がんを生じやすい。

[問題 19]

頭蓋内出血について、正しいものはどれか。

- 1 脳内出血は、大脳皮質に好発する。
- 2 クモ膜下出血は、動脈瘤の破裂によることが多い。
- 3 硬膜下出血（血腫）の発症には、高血圧が関与することが多い。
- 4 硬膜外出血（血腫）では、受傷後数か月して発症することが多い。

[問題 20]

循環器疾患について、誤っているものはどれか。

- 1 喫煙は、心筋梗塞の危険因子となる。
- 2 大動脈解離では、動脈壁の内腔側で断裂が認められる。
- 3 虚血性心疾患の原因に動脈硬化があげられる。
- 4 心筋梗塞では、数か月かけて壊死した心筋が再生される。

[問題 21]

次のうち、正しいものはどれか。

- 1 バセドウ病では、甲状腺機能が低下する。
- 2 糖尿病は、インスリン過剰により発症する。
- 3 腎盂腎炎では、高度のたんぱく尿がみられる。
- 4 クロウン病では、縦走潰瘍が認められる。

[問題 22]

病原体の感染経路で、誤っている組合せはどれか。

- 1 メチシリン耐性黄色ブドウ球菌 (MRSA) —— 接触感染
- 2 麻疹ウイルス —— 経口感染
- 3 インフルエンザウイルス —— 飛沫感染
- 4 結核菌 —— 空気感染

[問題 23]

次のうち、正しいものの組合せはどれか。

- a 麻疹 —— 生ワクチン
- b B型肝炎 —— 不活化ワクチン
- c ジフテリア —— 生ワクチン
- d ポリオ —— トキソイド

- 1 aとb 2 aとc 3 bとd 4 cとd

[問題 24]

次のうち、正しいものの組合せはどれか。

- a スタンダードプリコーションは、感染の標準予防策である。
- b 消毒液による手指消毒には、グルタールが用いられる。
- c 次亜塩素酸ナトリウムは、ノロウイルスに有効である。
- d 芽胞を滅菌するには、2気圧 100℃で、15～30分加熱する。

- 1 aとb 2 aとc 3 bとd 4 cとd

[問題 25]

「看護者の倫理綱領」について、誤っているものはどれか。

- 1 看護者の行動指針である。
- 2 日本看護協会が示したものである。
- 3 実施した看護について組織として責任を持つことを示している。
- 4 看護実践の専門職としての責任範囲を社会に示したものである。

[問題 26]

次のうち、誤っているものはどれか。

- 1 医療法では、インフォームドコンセントの重要性を明示している。
- 2 保健師助産師看護師法では、准看護師の守秘義務を規定している。
- 3 ニュルンベルグ綱領では、看護職の職業倫理を規定している。
- 4 国際看護師協会（ICN）看護師の倫理綱領では、健康を増進し、疾病を予防し、健康を回復し、苦痛を緩和することの看護師の4つの基本責任について述べている。

[問題 27]

次のうち、誤っているものはどれか。

- 1 自己一致とは、本来の自分と役割として表出する自分にずれがなく一致していることである。
- 2 共感的理解とは、相手の心情を理解し、その感情の世界をそのまま感じようとすることである。
- 3 受容とは、相手のありのままを受け入れることである。
- 4 傾聴とは、相手の考えを変えるために指導することである。

[問題 28]

ストレスについて、誤っているものはどれか。

- 1 ストレスとは、ストレス者にさらされた生体に生じたゆがみである。
- 2 同じストレス者の場合、感じるストレスの強さは個人差がある。
- 3 セリエが提唱するストレスの生物学的反応には、警告反応期、抵抗期、適応期がある。
- 4 生命の抵抗力を超えたストレス状態が続くと、さまざまな疾患をもたらす。

[問題 29]

キューブラー・ロスの死にゆく患者の心理プロセスについて、第3段階はどれか。

- 1 取り引き
- 2 抑うつ
- 3 怒り
- 4 否認

[問題 30]

日本の人口動態について、誤っているものはどれか。

- 1 合計特殊出生率は、1人の女性が一生の間に生む平均の子どもの数に相当する。
- 2 死因構造は、感染症から生活習慣病に変化している。
- 3 年齢調整死亡率は、年々上昇傾向を示している。
- 4 将来の人口は、減少していくと予測されている。

[問題 31]

介護保険について、誤っているものはどれか。

- 1 保険者は、市町村（特別区含む）である。
- 2 被保険者は、65 歳以上の者である。
- 3 要介護度が高いほど、介護サービスの給付にかかる利用限度額も高くなる。
- 4 利用限度額内で介護サービスを受けた際、介護報酬の 1 割が自己負担となる。

[問題 32]

次のうち、誤っているものはどれか。

- 1 准看護師になろうとする者は、厚生労働大臣の免許を受けなければならない。
- 2 看護職は、免許を受けた後も研修を受け、その資質向上に努めなければならない。
- 3 看護師等の人材確保の促進に関する法律は、近年の増大する看護需要に対処するために制定された。
- 4 中学校卒業の准看護師は、免許取得後 3 年以上業務に従事すると、進学課程（看護師 2 年課程）の入学資格を得る。

[問題 33]

次のうち、誤っているものはどれか。

- 1 病院の病床には、精神病床、感染症病床、結核病床、療養病床、一般病床がある。
- 2 病院・診療所または助産所の運営管理の責任者は、医師でなくてはならない。
- 3 薬剤師は、調剤したときは、患者または看護者に対し、必要な情報を提供しなければならない。
- 4 診療に従事しようとする医師は、免許取得後、2 年以上医科大学病院または厚生労働大臣が指定する病院（臨床研修指定病院）で、臨床研修を受けなければならない。

[問題 34]

看護場面で行われる教育活動について、誤っているものはどれか。

- 1 対象は、患者本人に限定される。
- 2 具体的でわかりやすい言葉を用いて説明する。
- 3 計画的にすすめる。
- 4 対象の問題を十分に把握して行う。

[問題 35]

医療安全について、誤っているものはどれか。

- 1 医療事故の防止を図るためには、組織における取り組みが欠かせない。
- 2 アクシデントとは、誤った医療行為が実施されたが、結果として患者に影響を及ぼさなかったものをいう。
- 3 医療過誤は、医療事故の発生の原因として、医療従事者に過失があるものをいう。
- 4 医療事故が発生した場合、看護職は刑事上、民事上及び行政上の3つの責任が問われる可能性がある。

[問題 36]

保健師助産師看護師法で規定する事項について、誤っているものはどれか。

- 1 准看護師の定義
- 2 准看護師業務の制限
- 3 保健師、助産師、看護師または准看護師の禁止行為
- 4 看護記録の記載及び保存

[問題 37]

看護理論家と著書について、誤っている組合せはどれか。

- 1 ウィーデンバック —— 臨床看護の本質
- 2 アブデラ —— 看護の探求
- 3 ヘンダーソン —— 看護の基本となるもの
- 4 ペプロウ —— 人間関係の看護論

[問題 38]

トリアージについて、誤っているものはどれか。

- 1 トリアージ区分の判定は、トリアージオフィサーが執り行う。
- 2 トリアージによる優先順位のカテゴリーは、4区分（段階）に分類される。
- 3 トリアージ・タグ（識別票）は、原則として被災者の右手関節部に取り付けられる。
- 4 治療・搬送が最も優先される被災者には、黒のトリアージ・タグ（識別票）を付ける。

[問題 39]

コミュニケーションについて、誤っているものはどれか。

- 1 看護の実践場面では、マスコミュニケーションを活用することが基本となる。
- 2 看護職の示すアイコンタクトやタッチは、コミュニケーションの過程に影響を与える。
- 3 対象者個人の家族環境・生育歴・生活環境などは、コミュニケーションのあり方に影響を与える。
- 4 看護の実践場面では対象者に、目的や内容を具体的に説明することが重要である。

[問題 40]

情報収集・観察について、誤っているものはどれか。

- 1 看護における観察は、対象者の健康問題や心身の状況を把握するために行う。
- 2 患者から得られる情報（データ）には、主観的情報と客観的情報がある。
- 3 情報収集の際には、個人のプライバシーを守る。
- 4 系統的観察法とは、観察者の直観や気づきによって主観的に観察する方法である。

[問題 41]

バイタルサイン測定について、誤っているものはどれか。

- 1 体温の値は、測定部位によって差がみられ、腋窩、口腔、直腸の順に高くなる。
- 2 成人の場合、脈拍数が1分間に100回以上を頻脈という。
- 3 呼吸回数は、胸郭や腹壁の動きから1分間測定する。
- 4 血圧計のマンシエットの幅が狭いと、測定値は低くなる。

[問題 42]

身体測定について、正しいものはどれか。

- 1 身長測定時は、顎を上げた状態で測定する。
- 2 胸囲測定時の目盛りは、吸気の終わったところで読む。
- 3 最大腹囲は、臍の位置に限らず最も大きいと思われる位置で測定する。
- 4 握力測定では、2回以上測定し左右それぞれの平均値を記録する。

[問題 43]

看護記録について、誤っているものはどれか。

- 1 看護記録は、看護実践の一連の過程を記録するものである。
- 2 看護サマリーは、患者の経過や情報を要約したものである。
- 3 体温表は、一般的に脈拍を青色で記載する。
- 4 POS (Problem Oriented System) の記録様式では、問題ごとに経過を記録する。

[問題 44]

看護過程について、誤っているものはどれか。

- 1 情報収集は、面接、観察、測定などにより系統的に行われる。
- 2 情報の整理に用いられるゴードンの機能的健康パターンは、5項目である。
- 3 看護目標（期待される結果）の文章表現は、対象者を主語にする。
- 4 具体策では、観察計画、実施計画、教育計画を立案する。

[問題 45]

環境について、正しいものはどれか。

- 1 医療法では病室の床面積は、患者1人当たり3.3㎡以上と規定されている。
- 2 冷房時は、外気温と冷房室内温度の差が10℃以上にならないよう注意する。
- 3 療養施設が設置されている地域では、夜間の騒音の環境基準は40デシベル以下と規定されている。
- 4 不快指数60以上で、ほとんどの日本人は不快に感じる。

[問題 46]

入浴の援助について、誤っているものはどれか。

- 1 浴室や脱衣室で転倒しないように環境を整える。
- 2 空腹時や食事直後の入浴は避ける。
- 3 湯の温度は、48℃前後に調節する。
- 4 バイタルサインや一般状態を観察する。

[問題 47]

次のうち、正しいものはどれか。

- 1 感染は、感染源、感染経路、感受性の3要因がそろった場合に起こる。
- 2 スタンダードプリコーションは、検査で感染症がわかった患者に行う。
- 3 滅菌手袋を装着する場合は、手洗いをする必要はない。
- 4 使用後の針は、両手でリキャップしてから廃棄する。

[問題 48]

次のうち、誤っているものはどれか。

- 1 体位変換を行う場合は、安全かつ安楽な動作としてボディメカニクスを活用する。
- 2 シムス位は、仰臥位で膝を立てる姿勢である。
- 3 呼吸困難のある患者は、起座位にするとよい。
- 4 半座位は、座位の中では最も安楽な体位である。

[問題 49]

清拭について、正しいものはどれか。

- 1 清拭時の湯の温度は、45℃以下とする。
- 2 筋肉の走行にそって、中枢から末梢に向かって拭く。
- 3 清拭は、食後1時間以内に行う。
- 4 女性の陰部は、中央及び両側を前から後ろに向けて拭く。

[問題 50]

移送の援助について、誤っているものはどれか。

- 1 患者に障害がある場合は、看護職は患者の健側に立ち歩行介助する。
- 2 平坦なところをストレッチャーで移送する場合は、患者の足側から先に進行する。
- 3 下り坂を車椅子で移送する場合は、後ろ向きで車椅子を支えながらゆっくり下りる。
- 4 段差のある場所を車椅子で移送する場合は、ティッピングレバーを活用する。

[問題 51]

寝衣の交換について、正しいものはどれか。

- 1 病院では、2～3日に1回の交換とする。
- 2 一側の上肢に障害がある場合は、患側から脱がせ健側から着せる。
- 3 病衣は、皮膚の刺激が少なく、吸水性があり、体温調節ができる綿織物がよい。
- 4 患者が自力でできるところがあっても、入院中は看護職が行う。

[問題 52]

嚥下障害のある患者への援助について、誤っているものはどれか。

- 1 食事介助をする場合は、直立座位または上半身を30度挙上した体位にする。
- 2 咀嚼能力が低下している場合は、食塊が形成しやすい食品を選ぶ。
- 3 麻痺がある場合は、麻痺側から食事を口に運ぶ。
- 4 気管切開をしている場合は、嚥下訓練食から始める。

[問題 53]

排泄の援助について、誤っているものはどれか。

- 1 便失禁のない場合でも、下痢の患者にはオムツを使用する。
- 2 下痢の患者には、食物繊維が少なく栄養価の高い食品を摂取するように説明する。
- 3 便秘の患者には、大腸の走行にそって回盲部からマッサージを行う。
- 4 摘便をする場合は、ゴム手袋を装着し潤滑油をつけて行う。

[問題 54]

中心静脈栄養法を受けている患者の看護について、誤っているものはどれか。

- 1 カテーテル挿入時は、感染予防のため無菌操作で行う。
- 2 カテーテル留置中は、入浴は不可とする。
- 3 食事を全くしない場合も、口腔ケアを実施する。
- 4 輸液で栄養補給中も、消化器症状の観察を行う。

[問題 55]

注射について、誤っているものはどれか。

- 1 皮下注射は、主として上腕後面（伸側）正中線上で下3分の1の部位に行う。
- 2 皮内注射は、通常、前腕内側である。
- 3 筋肉内注射の注射時の角度は、皮膚面に対し10～30度である。
- 4 静脈内注射は、皮下注射よりも薬効が速く現れる。

[問題 56]

輸血について、誤っているものはどれか。

- 1 全血製剤は、10～16℃の冷蔵庫に貯蔵する。
- 2 血液型と交差適合試験の結果は、医師・看護職など複数で確認する。
- 3 重篤な副作用の発見のために、輸血開始後観察を十分に行う。
- 4 輸血に伴う副作用として、発熱、ショック、呼吸困難などがみられる。

[問題 57]

経管栄養法について、誤っているものはどれか。

- 1 口腔または鼻腔からのチューブ挿入時の体位は、半座位とする。
- 2 チューブ挿入の長さは、耳介から剣状突起までの長さである。
- 3 流動物を注入する直前に、空気音を聴取し、チューブが正しい位置に挿入されていることを確認する。
- 4 注入中に、むせや咳、喘鳴のある場合は、直ちに注入を中止する。

[問題 58]

次のうち、誤っているものはどれか。

- 1 坐薬を直腸に挿入する場合は、体温で溶解し始めるため挿入するまで持たない。
- 2 薬剤を保管する場合は、温度・湿度・光の影響を考慮する。
- 3 食後薬は、食後2～3時間で服用する。
- 4 薬物を準備するときは、薬袋・薬札（ラベル）・薬剤を確認する。

[問題 59]

罨法について、誤っているものはどれか。

- 1 温罨法の目的は、保温や腹部不快感の軽減などである。
- 2 ゴム製湯たんぼの場合は、70～80℃の温湯を用いる。
- 3 氷枕・氷のうは、乾性冷罨法である。
- 4 冷罨法時は、凍傷や一般状態に注意する。

[問題 60]

浣腸について、正しいものの組合せはどれか。

- a 浣腸液の温度は、直腸温より2～3℃低くする。
- b 成人の場合、カテーテルの挿入は5～7cmとする。
- c 成人の場合、石けん浣腸液の量は500mlを上限とする。
- d 浣腸の体位は、左側臥位ができない場合、仰臥位で行う。

- 1 aとb 2 aとc 3 bとd 4 cとd

[問題 61]

女性の導尿について、誤っているものはどれか。

- 1 成人では、ネラトンカテーテル英式10～12号を用いる。
- 2 体位は仰臥位とし、両膝を立て広く開き、外陰部を露出する。
- 3 尿道口から肛門側にむけて、尿道口の周囲を、左右、最後に中央と毎回綿球をかえて消毒する。
- 4 カテーテル挿入の際は、口呼吸をするように促す。

[問題 62]

胃洗浄について、誤っているものはどれか。

- 1 1回注入量は、通常1,000mlを目安とする。
- 2 胃管は、9～12号の管を準備する。
- 3 体位は、患者の状態に応じて、左側臥位・半座位・座位とする。
- 4 洗浄液がきれいになるまで洗浄を繰り返す。

[問題 63]

腰椎穿刺時の看護について、誤っているものはどれか。

- 1 患者の腹部側で膝と頸部を抱え込み体位を固定する。
- 2 穿刺は、無菌操作で実施する。
- 3 穿刺針の抜去後は、滅菌された綿球やガーゼを当て絆創膏で圧迫固定をする。
- 4 穿刺終了後24時間は、水平（腹臥位または仰臥位）の体位を保つ。

[問題 64]

吸入について、正しいものはどれか。

- 1 患者の呼吸状態を観察し、看護職の判断で薬液や回数を選択する。
- 2 基本的に、吸入中の体位は仰臥位とする。
- 3 吸入中は、深く吸入できるよう静かにリラックスした呼吸を続ける。
- 4 吸入後の含漱は、控えるよう伝える。

[問題 65]

気管内吸引について、正しいものはどれか。

- 1 吸引できるかどうか、カテーテルに滅菌水を通して確認する。
- 2 1回の吸引時間は、20～30秒以内とする。
- 3 吸引圧は、300～400mmHg (40.0～53.3kPa) とする。
- 4 カテーテルは、先端から20cmの位置を持って挿入する。

[問題 66]

胸腔内持続吸引法について、誤っているものはどれか。

- 1 吸引器は、挿入部より低い位置に設置する。
- 2 排液状態、気泡の状態（エアリーク）、患者の状態を観察する。
- 3 排液バッグの交換時は、ドレーンチューブをコッヘルで止めてから吸引器のスイッチを切る。
- 4 ドレーンチューブが抜けたり、接続部からはずれることのないよう、長さにゆとりをもたせず固定する。

[問題 67]

包帯法について、誤っているものはどれか。

- 1 巻軸帯の巻き始めと終わりは、環行帯で行う。
- 2 亀甲帯は、肘・膝関節に用い、関節屈側で交差する。
- 3 三角巾を使用した肘部の固定は、三角巾の底辺が肘部にくるようにする。
- 4 包帯は、末梢から中枢へ平均した圧で巻く。

[問題 68]

磁気共鳴画像（MRI）検査について、誤っているものはどれか。

- 1 放射線被曝がある。
- 2 検査中は、体を動かさないように説明する。
- 3 時計・磁気カードなど金属製品をはずす。
- 4 圧迫感や威圧感、音による恐怖感を感じることもある。

[問題 69]

患者・家族について、正しいものはどれか。

- 1 患者の生活習慣は、家族や周りの人々からの影響を受けにくい。
- 2 家族の役割や家族の関係は、家族に病人が出た後も変わらない。
- 3 患者が重篤な病気になっても、家族は冷静に患者の支援ができる。
- 4 家族の問題を明確にするには、患者と家族との関係や背景を情報収集する。

[問題 70]

慢性期にある患者の看護について、正しいものはどれか。

- 1 症状が緩やかに進行するため、患者は病気を容易に受容しやすい。
- 2 患者の食習慣改善に家族が協力できるように、本人と家族に食事指導を行う。
- 3 看護職が決めたケアの目標に従って、患者が生活や治療の管理をしていく。
- 4 患者が退院後も、入院中の日課に合わせて生活行動を継続できるように支援する。

[問題 71]

痛みのある患者の看護について、誤っているものはどれか。

- 1 筋肉は、弛緩していることが多い。
- 2 痛みを訴えられない患者の痛みの程度は、表情や姿勢から読み取る。
- 3 食事や睡眠などの生活行動との関連を観察する。
- 4 急性炎症を伴う痛みがあるときは、温罨法を避ける。

[問題 72]

発熱のある患者の看護について、正しいものはどれか。

- 1 代謝が低下し、脈拍数・呼吸数が減少する。
- 2 悪寒があっても冷罨法を継続する必要がある。
- 3 舌や口腔の乾燥により炎症症状が現れるので、歯みがきは控える。
- 4 発汗が多いときには、塩分の補給や水分の摂取を促す。

[問題 73]

浮腫のある患者の看護について、正しいものはどれか。

- 1 潜在性浮腫の程度は、視診により判断する。
- 2 疲れないように同一体位で安静にする。
- 3 塩分制限がないことを説明する。
- 4 利尿剤使用時は、水分出納量や電解質の観察を行う。

[問題 74]

嘔吐のある患者の看護について、正しいものはどれか。

- 1 頭痛や意識障害の有無を観察する。
- 2 大量の嘔吐や繰り返しの嘔吐は、代謝性アシドーシスを引き起こす。
- 3 嘔吐後は、多めの水分を飲用させ、早期に食事が開始できるように援助する。
- 4 吐物による誤嚥や窒息の危険があるときは、仰臥位にする。

[問題 75]

手術を受ける患者の看護について、正しいものはどれか。

- 1 糖尿病や高血圧がある場合、手術前はその治療を中断する。
- 2 手術直前まで食事や水分の摂取を促し、栄養状態を維持する。
- 3 手術後の疼痛があるときは、バイタルサインを観察し指示により鎮痛薬を使用する。
- 4 手術後の静脈血栓塞栓症の予防のために、下肢を動かさないように安静にする。

[問題 76]

検査を受ける患者の看護について、誤っているものはどれか。

- 1 患者が検査内容を理解しやすいようにパンフレットを用いて説明する。
- 2 体液に触れる可能性のある検査は、个人防护用具を使用する。
- 3 検査中は、患者の緊張を高めないために声かけはしない。
- 4 検査後は、患者の状態を観察し、副作用や合併症の有無を確認する。

[問題 77]

次のうち、誤っているものはどれか。

- 1 成人期の健康破綻は、食べ過ぎ、運動不足、過労などにより起こる。
- 2 20～30歳代は、不慮の事故と自殺による死亡の割合が多いことが特徴である。
- 3 近年、成人期の死因の第1位は、脳血管疾患である。
- 4 一次予防には、生活習慣の見直しが重要である。

[問題 78]

成人期の身体的・心理的・社会的特徴について、誤っているものはどれか。

- 1 青年期は、アイデンティティが確立する時期である。
- 2 青年期の発達課題は、ハヴィガーストによると、自分の余暇の充実である。
- 3 壮年期の女性には、ホルモン分泌量の変動に伴う身体的変化がみられる。
- 4 壮年期は、職場や家庭で最も能力を発揮し、主要な役割を担う。

[問題 79]

リハビリテーション過程にある患者の看護について、誤っているものはどれか。

- 1 障害のみに注目するのではなく、ひとりの人間として対応する。
- 2 個人の持つ能力を発揮できるように支援する。
- 3 日常生活の援助の中から、回復の兆しを見つけて支援する。
- 4 退院が決まった直後から、障害に対する機能回復訓練を行う。

[問題 80]

甲状腺機能低下症の症状について、正しいものはどれか。

- 1 眼球突出
- 2 徐脈
- 3 体重減少
- 4 テタニー

[問題 81]

慢性心不全患者の看護について、正しいものはどれか。

- 1 塩分摂取量は、1日10gにすることが望ましいと説明する。
- 2 体重測定は、いつでも好きな時間に測定してよいと説明する。
- 3 入浴は、心臓に負担がかかるため禁止であると説明する。
- 4 毎日、浮腫の有無を観察するように説明する。

[問題 82]

気管支喘息について、誤っているものはどれか。

- 1 スパイロメトリー検査では、閉塞性換気障害を認める。
- 2 慢性の気道炎症を特徴とする。
- 3 咳嗽は、夜間から早朝にかけて出現することが多い。
- 4 ピークフローメーターによる呼吸機能測定は、発作があった時に行う。

[問題 83]

ヒト免疫不全ウイルス（HIV）感染症について、誤っているものはどれか。

- 1 患者の血液や体液で感染する。
- 2 通常2～6週間の潜伏期のあとに、発熱などの急性期症状を認める。
- 3 感染から数年間の無症候期を経て、後天性免疫不全症候群（AIDS）を発症する。
- 4 CD4陽性T細胞が $500/\mu\ell$ 以上の場合は、日和見感染に注意する。

[問題 84]

慢性閉塞性肺疾患（COPD）について、誤っているものはどれか。

- 1 口すぼめ呼吸では、ゆっくりと息を吸い、吸気時間を長くする。
- 2 進行性に悪化する労作時の呼吸困難が特徴である。
- 3 禁煙は、有効な治療法である。
- 4 MRC（Medical Research Council）息切れスケールを用いて、呼吸困難の評価をする。

[問題 85]

循環器疾患の薬物療法について、正しいものはどれか。

- 1 ジギタリス製剤内服中は、心拍数が増加する。
- 2 ワルファリン内服中は、ビタミンC含有量の多い食品の摂取を禁止する。
- 3 フロセミドなどのループ利尿剤内服中は、高カリウム血症に注意が必要である。
- 4 アンギオテンシン変換酵素阻害薬（ACE阻害薬）は、高カリウム血症を引き起こす。

[問題 86]

糖尿病患者の看護として、誤っているものはどれか。

- 1 糖尿病性網膜症がある場合は、激しい運動を避ける。
- 2 糖尿病性腎症がある場合は、低塩、高たんぱく食とする。
- 3 低血糖の際は、ブドウ糖を摂取するように指導する。
- 4 鶏眼（うおのめ）・胼胝（たこ）がある場合は、自己処理せず医師に相談する。

[問題 87]

急性期の脳出血患者の看護について、誤っているものはどれか。

- 1 意識レベルの程度を経時的に観察する。
- 2 舌根沈下や吐物による誤嚥に注意し、気道を確保する。
- 3 体液のバランスを保つため、点滴や尿量などの水分出入量を観察する。
- 4 便秘の場合は怒責を避けるため、浣腸を行う。

[問題 88]

筋萎縮性側索硬化症患者の看護について、誤っているものはどれか。

- 1 筋力低下は、下肢から始まるため、早期に車いすを準備しておく。
- 2 嚥下困難時は、食事の形態と体位の工夫をする。
- 3 直腸膀胱障害は、末期に至るまでみられない。
- 4 人工呼吸器の装着については、患者と家族の意思を確認しておく。

[問題 89]

血液・造血管疾患患者の看護について、誤っているものはどれか。

- 1 白血球数や炎症反応などの血液検査値の見方と意味について説明する。
- 2 自覚症状の訴えがなくても、手洗いやうがいを行うように指導する。
- 3 貧血によるふらつきがある時は、転倒に注意する。
- 4 治療に専念できるよう、家庭や仕事の話題には触れないようにする。

[問題 90]

疾患と症状について、誤っている組合せはどれか。

- 1 筋ジストロフィー症 —— 近位筋優位の筋委縮
- 2 てんかん —— けいれん発作
- 3 パーキンソン病 —— 舞踏運動
- 4 正常圧水頭症 —— 歩行障害

[問題 91]

带状疱疹について、誤っているものはどれか。

- 1 原因は、水痘带状疱疹ウイルスの感染である。
- 2 両側の神経支配領域に認める帯状の皮疹が特徴である。
- 3 痛みが強く、後遺症として神経痛が残る場合がある。
- 4 免疫力が低下した場合に発症しやすい。

[問題 92]

熱傷患者の看護について、誤っているものはどれか。

- 1 患部を冷やすため、衣類はすぐに脱がす。
- 2 広範囲熱傷の場合は、ショック症状の有無を観察する。
- 3 浸出液の漏出による脱水の可能性があるので、水分・電解質の補給を行う。
- 4 拘縮予防のため、可能な範囲でリハビリテーションを行う。

[問題 93]

膠原病の症状と看護について、誤っている組合せはどれか。

- 1 発熱 —— 水分・栄養の補給
- 2 レイノー現象 —— 手指・足趾の冷却
- 3 蝶形紅斑 —— 日光を避ける
- 4 腎障害 —— 水分・塩分制限

[問題 94]

慢性関節リウマチ患者の看護について、誤っているものはどれか。

- 1 症状が再燃する可能性があり、長期の療養が必要であることを説明する。
- 2 過度のストレスを避けるように説明する。
- 3 関節を動かす運動は、しないように説明する。
- 4 日常生活で使用する自助具を紹介する。

[問題 95]

抗がん剤投与後の副作用が発現する時期について、誤っているものはどれか。

- 1 アナフィラキシー症状は、投与当日に出現する。
- 2 骨髄抑制は、投与後2～3日頃に出現する。
- 3 口内炎は、投与後1～2週間に出現する。
- 4 脱毛は、投与後2週間以降に出現する。

[問題 96]

骨髄穿刺時の看護について、正しいものはどれか。

- 1 腸骨穿刺時は、患者に側臥位をとらせる。
- 2 局所麻酔を使用するため、骨髄液吸引時の痛みはないと説明する。
- 3 穿刺中は、体位固定を保つため患者への声かけを控える。
- 4 穿刺終了後、30～60分は安静臥床とする。

[問題 97]

大腸がんについて、正しいものはどれか。

- 1 組織型は、大部分が腺がんである。
- 2 部位としては、上行結腸がんが最も多い。
- 3 直腸がんでは、黒色便を呈することが多い。
- 4 早期がんでは、開腹手術が行われることが多い。

[問題 98]

肝硬変とその患者の看護について、誤っているものはどれか。

- 1 肝細胞がんの発生率が上昇する。
- 2 血小板数が増加する。
- 3 肝性脳症の徴候がある患者の食事は、たんぱく質を制限する。
- 4 黄疸が認められる場合は、肝臓への血流を確保するため安静臥床とする。

[問題 99]

消化管出血を起こしている患者の看護について、正しいものはどれか。

- 1 吐血時は、胃部の温罨法を行う。
- 2 吐血後は、すみやかに冷水を飲むように促す。
- 3 下血が続くときは、安静を優先にし、症状が治まってから排泄物を除去する。
- 4 血圧の変動に注意する。

[問題 100]

慢性腎臓病（CKD）について、誤っているものはどれか。

- 1 虚血性心疾患の危険因子である。
- 2 末期腎不全の予備軍と考えられている。
- 3 腎機能の評価には、糸球体濾過量（GFR）が用いられる。
- 4 検尿では、とくに尿糖のチェックが重要である。

[問題 101]

次のうち、誤っているものはどれか。

- 1 腎生検後3～4週間は、重い物を持つなどの動作は避けるように指導する。
- 2 血液透析患者は、腹膜透析患者に比べて食事制限がゆるやかである。
- 3 尿路結石患者には、1日に20以上の水分摂取を促す。
- 4 経尿道的前立腺切除術後に尿失禁を起こしている患者に対しては、骨盤底筋運動を勧める。

[問題 102]

子宮筋腫で子宮全摘出術を受けた患者の看護について、誤っているものはどれか。

- 1 手術後は、排便障害や排尿障害に注意する。
- 2 女性性の喪失感など精神的苦痛を抱いていないか注意深く観察する。
- 3 女性ホルモンの分泌がなくなるため、更年期症状に注意するように説明する。
- 4 退院後の性生活は、医師の許可を得てから行うように指導する。

[問題 103]

帯下のある患者への説明として、誤っているものはどれか。

- 1 爪は短く切り、手指は常に清潔にしておく。
- 2 帯下の量が少なくなるまで入浴は禁止する。
- 3 下着は通気性のよい素材のものを使用する。
- 4 膣錠や外用薬を使用する場合は、下着にナプキンなどをあてるとよい。

[問題 104]

骨粗鬆症について、誤っているものはどれか。

- 1 閉経後の女性に多い。
- 2 軽微な外力で大腿骨頸部骨折や脊椎骨折などをきたしやすい。
- 3 血清カルシウム値は高値である。
- 4 薬物療法として、ビスホスホネート製剤、活性型ビタミンD製剤などが用いられる。

[問題 105]

ギプス固定中の看護について、正しいものの組合せはどれか。

- a 患肢の指先・足趾の屈伸運動は行ってはならない。
- b 腫脹を防ぐため、患肢は下垂させる。
- c 患肢の指先・足趾の腫脹、疼痛、チアノーゼなど症状の有無を確認する。
- d 排泄やシャワー浴の際は、ギプスの汚染に注意する。

- 1 aとb 2 aとc 3 bとd 4 cとd

[問題 106]

変形性膝関節症患者の看護について、誤っているものはどれか。

- 1 大腿四頭筋の筋力強化訓練の必要性和方法を指導する。
- 2 体重のコントロールについて指導する。
- 3 関節内注入後は、感染症状の有無を観察する。
- 4 手術後の退院指導として、和式の生活をすすめる。

[問題 107]

眼科の治療・処置に伴う看護について、誤っているものはどれか。

- 1 洗眼液の温度は、体温程度に調整する。
- 2 点眼後は、涙嚢部を軽く圧迫する。
- 3 視力検査施行時は、目を細めて文字を読むように説明する。
- 4 散瞳薬を用いた場合、眼底検査後4～5時間は、物が見えにくくなることを説明する。

[問題 108]

次のうち、誤っているものはどれか。

- 1 流行性角結膜炎は、エンテロウイルス70型による感染が多い。
- 2 麦粒腫は、ブドウ球菌による感染が多い。
- 3 緑内障では、眼圧が上昇することが多い。
- 4 網膜剥離では、視野欠損が生じる。

[問題 109]

鼻疾患について、誤っているものはどれか。

- 1 副鼻腔粘液嚢胞は、前頭洞や篩骨洞に起こることが多い。
- 2 上顎がんは、組織学的に腺がんが多い。
- 3 鼻腔深部からの出血で止血困難な場合は、ベロックタンポンを用いる。
- 4 肥厚性の慢性鼻炎では、下（鼻）甲介切除術などが行われる。

[問題 110]

次のうち、誤っているものはどれか。

- 1 外耳道炎患者へは、患部を触らないように指導する。
- 2 慢性副鼻腔炎患者では、鼻閉、鼻漏、味覚障害などの症状を観察する。
- 3 鼻出血の量が多い場合は、出血側を下にした側臥位で安静にする。
- 4 めまい発作時は、直射日光の入る明るい部屋で過ごすように指導する。

[問題 111]

次のうち、誤っているものはどれか。

- 1 う蝕症の第2度（C₂）では、う蝕が歯髄腔まで進行している。
- 2 歯肉炎の局所的な原因としては、歯垢の付着が多い。
- 3 口腔乾燥症により口腔内自浄作用は低下する。
- 4 口内炎の原因は不明のことが多い。

[問題 112]

歯・口腔疾患患者の看護について、誤っているものはどれか。

- 1 口腔内の腫脹が強い場合は、氷や冷却剤で急速に冷やす。
- 2 診察室内は、音楽を流すなど患者がリラックスできるようにする。
- 3 局所麻酔後は、感覚が戻るまで飲食は禁止する。
- 4 抜歯後の頻繁なうがいや創部を舌先で触ることは、止血の妨げになることを説明する。

[問題 113]

後期高齢者医療制度について、誤っているものはどれか。

- 1 高齢者の医療の確保に関する法律により創設された。
- 2 対象は、65歳以上の全ての人である。
- 3 運営財源の1割は、後期高齢者からの保険料である。
- 4 運営主体は、市町村が加入する後期高齢者医療広域連合である。

[問題 114]

地域包括支援センターの機能について、正しいものはどれか。

- 1 介護報酬の支給
- 2 訪問看護の実施
- 3 認知症高齢者の共同生活の場
- 4 介護予防ケアマネジメント

[問題 115]

高齢者の転倒や骨折について、誤っているものはどれか。

- 1 まぶしすぎる環境は、転倒要因となる。
- 2 橈骨遠位端骨折は、転んで手をついたときに起こしやすい。
- 3 脊椎骨の圧迫骨折は、尻もちをついたときに起こしやすい。
- 4 転倒や骨折後、安静臥床による廃用症候群の可能性は低い。

[問題 116]

老年期に体験する機会が多い4つの喪失について、誤っているものはどれか。

- 1 社会とのつながり
- 2 心身の健康
- 3 経済的自立
- 4 自我の統合

[問題 117]

高齢者の疾患の特徴について、誤っているものはどれか。

- 1 典型的な症状があらわれやすい。
- 2 合併症を併発しやすい。
- 3 多臓器にわたる複数の疾患を持っている。
- 4 慢性化しやすい。

[問題 118]

日本の高齢者の現状について、誤っているものはどれか。

- 1 高齢者のいる世帯で、最も多いのは夫婦のみ世帯である。
- 2 死因として、悪性新生物、心疾患の占める割合が多い。
- 3 老年後期になると病気にかかる割合が高くなる。
- 4 65歳以上の人口は減少している。

[問題 119]

高齢者の特徴について、誤っているものはどれか。

- 1 食欲不振を生じやすい。
- 2 脱水に陥りにくい。
- 3 食事摂取にかかわる咀嚼運動機能の低下が生じやすい。
- 4 残存歯の減少がある。

[問題 120]

認知症について、誤っているものはどれか。

- 1 アルツハイマー型認知症、血管性認知症、レビー小体型認知症などに分類される。
- 2 わが国で広く用いられている認知機能テストに改訂長谷川式簡易知能評価スケールがある。
- 3 記憶障害、見当識障害などは認められない。
- 4 多くは不可逆的に進行していく病態である。

[問題 121]

高齢者の排泄援助について、誤っているものはどれか。

- 1 麻痺や拘縮がある場合、ポータブルトイレは患側に置く。
- 2 床がすべりにくいことを確認する。
- 3 便器、尿器を使用する際は仙骨部の突出部位にあたらないようにする。
- 4 排便時の体位をこれまでとできるだけ同じにする。

[問題 122]

聴力の低下している患者の補聴器の使用について、誤っているものはどれか。

- 1 音量を上げすぎないようにする。
- 2 補聴器のマイクを話し手の方に近づける。
- 3 騒音の多い場所で使用すると効果がある。
- 4 使用しないときはスイッチを切る。

[問題 123]

全身麻酔による手術を受ける高齢者の看護について、誤っているものはどれか。

- 1 手術前に呼吸訓練を実施する。
- 2 手術時、義歯はつけたままでよい。
- 3 手術当日の内服薬は、少量の水で服用してもらう。
- 4 手術後は、せん妄の発症に注意して観察する。

[問題 124]

大腿骨頸部骨折の看護について、誤っているものはどれか。

- 1 環境の変化によるせん妄を予防するため、言葉かけを多くする。
- 2 同一体位による褥瘡を予防する。
- 3 手術後は、仰臥位で患肢は内旋位を保つ。
- 4 人工骨頭置換術を受けた場合、股関節脱臼を予防する。

[問題 125]

高齢者の看護について、誤っているものはどれか。

- 1 服薬指導は、患者とともに家族や介護者にも行う。
- 2 難聴がある場合は、騒音の少ない静かな環境で話す。
- 3 不眠を訴える患者には、日中は昼寝や休息をとらないように説明する。
- 4 高齢者は症状の出現や訴えが不明瞭なため、注意深く観察する。

[問題 126]

認知症の実行機能障害（低下）の説明で、正しいものはどれか。

- 1 料理などで段取りを考えて作業できない状態
- 2 目の前にあるものや聞いたものが、何であるかわからなくなる状態
- 3 指示語が多くなったり、簡単な言葉の理解ができない状態
- 4 運動機能は正常であるが、目的を持った行動がとれない状態

[問題 127]

次のうち、誤っている組合せはどれか。

- 1 産前・産後休暇 —— 労働基準法
- 2 母子健康手帳 —— 母子保健法
- 3 人工妊娠中絶 —— 母体保護法
- 4 乳幼児健康診査 —— 児童福祉法

[問題 128]

妊婦の看護について、正しいものはどれか。

- 1 妊娠 24 週以降の妊婦は、妊娠 36 週まで 2 週間に 1 回の健診が必要である。
- 2 妊娠末期には、下大静脈の圧迫を避けるために仰臥位にする。
- 3 妊娠中は、高血圧を予防するため、1 日の塩分摂取量は 12 g を目安にする。
- 4 嗜好品の制限は、ストレスとなるため、喫煙は制限しない。

[問題 129]

新生児の看護について、誤っているものはどれか。

- 1 出生直後の新生児は、直ちに清潔な布やタオルで包み保温する。
- 2 新生児の生理的黄疸は、生後2～3日頃に出現し、7～9日目に最も強くなる。
- 3 新生児室は、室温25℃前後、湿度50～60%が望ましい。
- 4 新生児の直腸温は、36.8～37.2℃が正常範囲である。

[問題 130]

褥婦の看護について、誤っているものはどれか。

- 1 産褥4～5日目の子宮底は、通常、臍と恥骨結合上縁の中央に位置する。
- 2 産後の数日間は、子宮復古を促すために安静臥床とする。
- 3 産後の心理状態は、不安定になりやすい。
- 4 子宮の復古状態を診断するため、産後1か月の健診は、重要であることを説明する。

[問題 131]

妊娠高血圧症候群について、正しいものはどれか。

- 1 妊娠20週以降発症し、分娩後12週までに正常に復する。
- 2 病型は、血圧と尿潜血反応で分類する。
- 3 重症の判断基準は、収縮期血圧140mmHg以上である。
- 4 尿検査には、早朝尿を用いる。

[問題 132]

アプガースコアについて、誤っているものはどれか。

- 1 10点満点である。
- 2 生後5分、10分に評価を行う。
- 3 心拍数、呼吸、筋緊張、反射、皮膚の色を評価する。
- 4 3～0点を重症仮死とする。

[問題 133]

次のうち、正しいものはどれか。

- 1 出生時の胸囲は、頭囲よりも大きい。
- 2 新生児の頭高は、身長のおよそ1/4である。
- 3 乳歯は、生後1歳以降に萌出しはじめる。
- 4 6か月児の体重1kgあたりの体表面積は、成人の約3倍である。

[問題 134]

次のうち、正しいものはどれか。

- 1 大泉門とは、左右頭頂骨と後頭骨との間の菱形の間隙を指す。
- 2 大泉門は、生後6か月頃までに閉鎖する。
- 3 水頭症では、大泉門の閉鎖遅延がみられる。
- 4 脱水症では、大泉門の膨隆がみられる。

[問題 135]

乳児の心臓マッサージについて、正しいものはどれか。

- 1 両乳頭を結んだ線の一横指下の位置を圧迫する。
- 2 胸の厚みの1/3の深さまで両手付け根で圧迫する。
- 3 1分間に60回の速さで圧迫する。
- 4 胸骨圧迫3回と人工呼吸1回の組合せで行う。

[問題 136]

定期的予防接種の対象となる疾患について、正しいものはどれか。

- 1 風疹
- 2 ロタウイルス
- 3 流行性耳下腺炎
- 4 B型肝炎

[問題 137]

低出生体重児の看護について、正しいものはどれか。

- 1 授乳後は水平にして、仰臥位をとらせる。
- 2 刺激を最小限にとどめ、体力の消耗を防ぐ。
- 3 母親の面会時間は、感染予防のために短くする。
- 4 児の皮膚温を38.0℃に保てるように温度調節を行う。

[問題 138]

乳児下痢症の看護について、正しいものはどれか。

- 1 おむつ交換の回数を少なくし刺激を与えない。
- 2 熱めのお湯で殿部清拭を行う。
- 3 ミルクは症状が激しい場合は、うすめるか短期間中止する。
- 4 砂糖水を与え脱水を予防する。

[問題 139]

次のうち、誤っているものはどれか。

- 1 精神障害者保健福祉手帳の交付を受けた者は、税制上優遇される。
- 2 措置入院は、2名以上の精神保健指定医が診察し、入院が必要と判断された場合に行うことのできる入院形態である。
- 3 精神保健福祉センターは、市町村ごとに設置される。
- 4 精神保健指定医の判断で行う患者の隔離は、診療録に記載する。

[問題 140]

次のうち、誤っている組合せはどれか。

- 1 オイゲン・ブロイラー —— 統合失調症の概念を樹立
- 2 エミール・クレペリン —— 早発性痴呆の発見
- 3 フィリップ・ピネル —— 鎖からの解放
- 4 呉 秀三 —— 脱施設化運動

[問題 141]

てんかん発作に対する看護について、誤っているものはどれか。

- 1 衣服をゆるめ、身体を楽にさせる。
- 2 顔を横に向け、気道の確保をする。
- 3 口腔内に舌圧子を入れ、舌根沈下を防ぐ。
- 4 上肢を軽く押さえ、骨折や外傷を防ぐ。

[問題 142]

精神疾患患者の症状と看護について、誤っている組合せはどれか。

- 1 躁状態 —— 休養と安静がとれるよう環境を整える。
- 2 引きこもり状態 —— 他者との接触を避ける。
- 3 拒絶状態 —— 信頼関係の構築をはかる。
- 4 アルコール依存 —— 治療（断酒）への動機づけを行う。

[問題 143]

「精神保健及び精神障害者福祉に関する法律」が定める入院患者の処遇について、誤っているものはどれか。

- 1 身体拘束は、精神保健指定医の判断を要する。
- 2 面会は、医療者の立ち会いなく行うことができる。
- 3 精神保健指定医は、手紙の発信を制限できる。
- 4 閉鎖病棟内にも公衆電話を設置し、通常その使用を制限することはない。

[問題 144]

妄想のある患者の看護について、正しいものはどれか。

- 1 「テレビが自分を監視している」というので、隔離した。
- 2 「コップに毒が入っている」というので、妄想であることを説得した。
- 3 「自分はなんの価値もない人間だ」というため、なぜそう思うのか詳しく聞いた。
- 4 「鬼が来る」と怖がっているため、そばに寄り添い共感的に接した。

[問題 145]

思考の障害について、誤っている組合せはどれか。

- 1 滅裂思考 —— 考えが切れ切れで前後のつながりがない。
- 2 思考途絶 —— 思考が途中で途切れる。
- 3 常同思考 —— 考えの進み方が非常に早く、多弁・饒舌となる。
- 4 思考制止 —— 思考過程が停滞し、新たな展開が得られない。

[問題 146]

防衛機制について、正しいものはどれか。

- 1 抑圧とは、自分では認めがたい考えや欲求を他者の考えや欲求であると思い込み、他者を批判・非難することである。
- 2 合理化とは、失敗やあやまちを認めず、口実をつけて正当化することである。
- 3 転換とは、自分にとって都合の悪い欲求などを意識から排除することである。
- 4 投射（投影）とは、受け入れがたい感情を消すために、正反対の感情でおおうことである。

[問題 147]

精神疾患の治療について、誤っている組合せはどれか。

- 1 作業療法（精神科作業療法） —— 精神活動の活性化
- 2 生活技能訓練 —— 生活能力やセルフケア能力の向上
- 3 光刺激療法 —— 解離性障害の改善
- 4 電気けいれん療法 —— 切迫した自殺の危険の回避

[問題 148]

統合失調症について、誤っているものはどれか。

- 1 原因仮説の一つに、ドパミン仮説がある。
- 2 発症のピークは、40～50歳である。
- 3 破瓜型統合失調症は、予測しがたいわざとらしい言動が特徴である。
- 4 陽性症状として、幻覚や妄想がみられる。

[問題 149]

次のうち、誤っているものはどれか。

- 1 パニック障害の主症状は、反復する重症の不安発作である。
- 2 心的外傷後ストレス障害（PTSD）は、外傷を体験してから数時間から数日以内に収束する。
- 3 神経性無食欲症は、女性に多い。
- 4 アスペルガー症候群は、言語や認知の発達に遅れはない。

[問題 150]

抗精神病薬の副作用とその症状について、正しい組合せはどれか。

- 1 パーキンソン症候群 —— 口渇
- 2 アカシジア ————— 意識障害
- 3 遅延性ジスキネジア —— 貧血
- 4 悪性症候群 ————— 高熱